おねがい

ガスのにおいやいやな臭気等が感じられるときは、危険があるかも知れませんから、使用を中止して、お近くのガスサービスショップ(販売店またはガス会社)にご連絡ください。

本社ガスサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビル サービスセンター	〒541	大阪市東区平野町５丁目１	☎大 阪 06 (202)2221
南　支　社	〒557	大阪市西成区玉出東２丁目９番41号	☎大 阪 06 (652) 0001
北　支　社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大 阪 06 (301) 1251
堺　支　社	〒590	堺市住吉橋町２丁目２番１９号	☎ 堺 0722(38)1131
北 摂 支 社	〒569	高槻市原の里３９番６号	☎高 槻 0726(71)0361
阪 神 支 社	〒662	西宮市和上町４番１１号	☎西 宮 0798(26)3101
東 阪 支 社	〒578	東大阪市箱殿２丁目３番１７号	☎河 内 0729(62)1131
京 阪 支 社	〒573	枚方市西田宮町１６番１７号	☎枚 方 0720(41)1251
神 戸 支 社	〒650	神戸市中央区相生町５丁目13番10号	☎神 戸 078(576)5231
京 都 支 社	〒604	京都市中央区烏丸御池梅屋町３５８	☎京 都 075(231)8151
奈 良 支 社	〒631	奈良市学園北２丁目４番１号	☎奈 良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町１丁目１	☎和歌山 0734(31)2481
姫 路 支 社	〒670	姫路市神屋町４丁目８	☎姫 路 0792(85)2221
東 播 支 社	〒675	加古川市加古川町粟津２９－１	☎加古川 0794(21)1801
豊 岡 支 社	〒668	豊岡市三坂町６丁目５７番地	☎豊 岡 07962(3)2221
湖 南 支 社	〒525	草津市追分町字荒細６８０の１	☎草 津 0775(62)5311
彦 根 支 社	〒522	彦根市大東町１２番１１号	☎彦 根 0749(22)3131
長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町３番４号	☎長 浜 0749(2)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ・風呂販売店

大阪ガス株式会社

7341756KF

大阪ガス

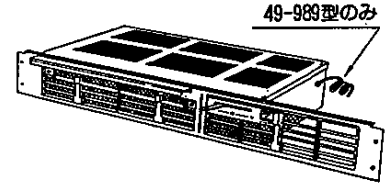
ファンコンベクター(足元型放熱器)

取扱説明書　49-987・988・989型

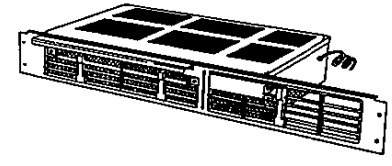
保証書付

型式名　JH-09HPA
JH-09HEA
JH-09HPA-Z

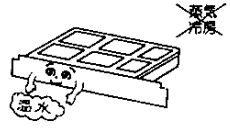
49－987・989型



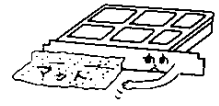
49－988型



器具をお使いになるときのご注意



蒸気暖房や冷房用には、使用できません。温水暖房専用ですので御注意ください。



吹き出し・吸い込みグリル前面に物をおかないでください。

凍結防止について十分ご配慮ください。

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

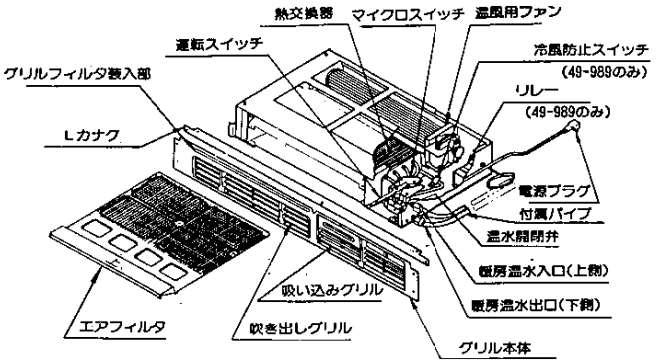
このたびは、大阪ガスのファンコンベクターをお求めいただきありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

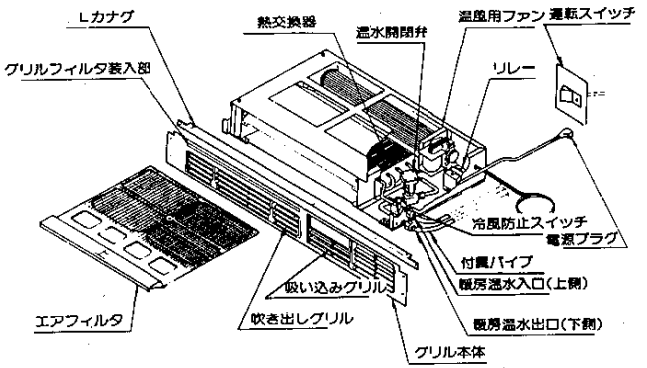
- 各部の名称…… 1
- 特に注意していただきたいこと…… 2
- 器具の設置…… 3
- 使用手順…… 3
- 日常の点検・お手入れ…… 5
- 故障・異常の見分け方と処理方法…… 7
- アフターサービスのお申し込み…… 8
- 特長…… 8
- 寸法図と仕様一覧表…… 9

各部の名称

49－987・989型

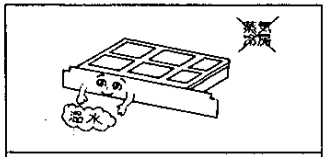


49－988型

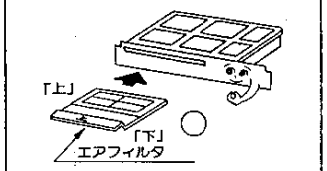


特に注意していただきたいこと

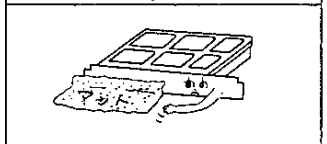
安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。



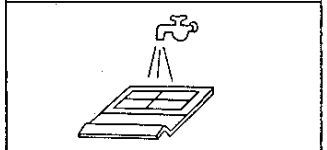
●蒸気暖房や冷房用には、使用できません。
このファンコンベクターは、温水暖房専用です。



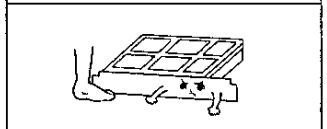
●エアフィルタは「上」「下」の区別があります。「上」「下」を間違えないように取付けてください。取付け方法を間違えますと暖房効果が低下したりエアフィルタに足が当たる場合があります。



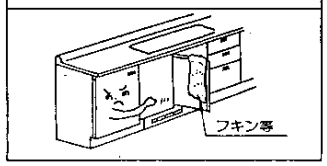
●吹き出し・吸い込みグリル前面に物を置かないでください。暖房効果が落ちるばかりかファンコンベクター本体にも悪影響をおよぼします。



●エアフィルタに大量のほこりが付着しますと暖房効果が減じます。
「日常の点検・手入れ」の項に従って掃除を行なってください。



●温水循環時には、グリル吹出部に直接素足を触れないようご注意ください。



●流し台・洗面台の扉を開けたまま使用しないでください。又、扉にフキンを吊す等の暖房以外の使用はしないでください。

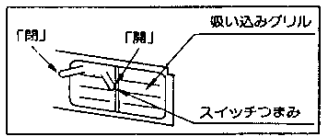
器具の設置

●器具の設置は、購入店に依頼し据付説明書に従い適切な位置に正しく設置してください。

使 用 手 順

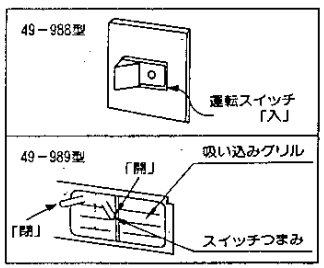
「運転」のしかた

49－987型



①熱源機を運転し、温水を流します。
②運転スイッチを「開」にしてください。

49－988・989型



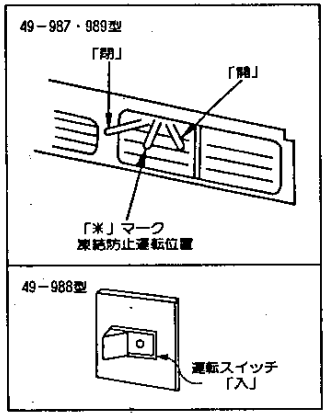
①熱源機を運転し、温水を流します。
（熱源機が連動運転できる場合は②の操作によって連動できます。）
②運転スイッチを「入」（「開」）にしてください。

運転時のご注意

●運転にしても温水温度が低い場合や温水が流れていない場合は、「冷風防止」機構が作動して運転を停止しています。温水温度が上昇し温水が流れますと自動的に運転されます。（49－988・989型）
●熱源機に添付してある「取扱説明書」をよくお読みになってください。

凍結防止運転について

冬期外気温が0℃以下になりますと熱交換器や温水回路、ボイラー内が凍結し、配管などが破損することがあります。必ずつぎのような方法で凍結防止を行なってください。



- 必ずシステムに適合した凍結防止策を実施してください。
- 熱源機でポンプ運転できる場合は水を循環させてください。
- 49－987・989型については、運転スイッチをスノーマーク「＊」に合わせ、49－988型の場合には、運転スイッチを「入」にしてファンコンベクター内の水を循環させておいてください。
- 特に寒い地域では、熱源機の暖房運転を行ってください。
- 厳寒期に長期間使用しないで放置する場合は暖房回路の水を抜いてください。

ポンプ運転のできない場合

暖房水の中に不凍液を注入することで凍結が防止できます。この場合は器具を操作する必要はありません。不凍液の注入は必ずお買い求めの販売店、サービスショップにおまかせください。

ご注意

凍結防止対策として、不凍液を使用している場合（暖房パックシステム）は、上記の操作は不要です。ファンコンベクターを長期間運転しないときも水抜きはしないでください。

日常の点検・お手入れ

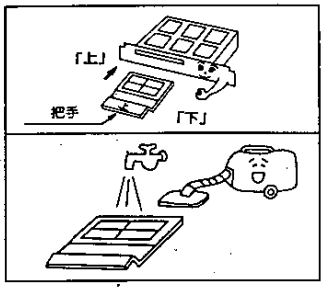
シーズン中

①エアフィルタの清掃（1週間に1回）

エアフィルタは空気中のゴミやホコリを取り除くものです。このエアフィルタにゴミやホコリがたまると風量が減って能力が低下したり運転音が大きくなりますのでシーズン始めには必ず清掃してください。またシーズン中もこまめに清掃してください。

㋐エアフィルタのはずしかた

- エアフィルタの把手を手前に引いてください。



㋑清掃のしかた

- ごみを電気掃除機で掃除するか、水又は台所用洗剤で洗いおとしてください。50℃以上のお湯は使用しないでください。
- エアフィルタを日陰で十分乾燥させてから取付けてください。

〝注〟エアフィルタの取付けに当っては「上」「下」を間違えないように取付けてください。

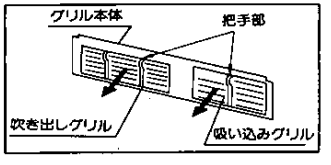
②吹き出し・吸い込みグリルのお手入れ（必要時）

吹き出し・吸い込みグリルの防虫網にゴミやホコリがたまると、エアフィルタと同様に能力が低下しますのでシーズン始めには必ず清掃してください。またシーズン中にもこまめに清掃してください。

㋐グリルのはずしかた

- グリルの把手部を指で手前に引きグリルをはずしてください。

〝注〟49－987・989型においてはスイッチつまみをスノーマーク「＊」位置に合わせてからつまみに注意しながら取りはずしてください。



日常の点検・お手入れ②

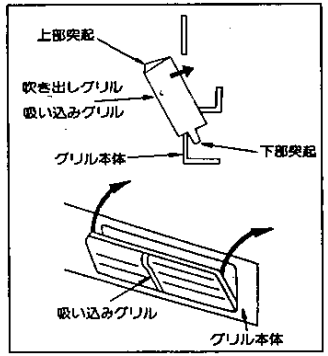
㋑清掃のしかた

●①㋑のエアフィルタと同じ要領で取り除いてください。

㋒グリルの取付けかた

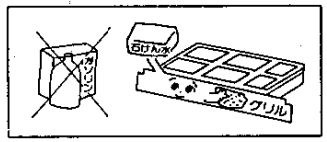
●取り付けは、吹き出し・吸い込みグリル下部突起をグリル本体に差し込み、その後上部突起をグリル本体に押し付けて取り付けてください。

〝注〟49－987・989型においては、スイッチつまみに注意しながら取付けてください。取付完了後は、つまみを「閉」に戻してください。



㋓グリルのお手入れ

汚れがひどいときには石けん水をしみ込ませた布でふいてから、あとをよくからぶきしてください。



ご注意

●ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふいたり、市販の液状殺虫剤などをかけないでください。化学変化をおこし、製品を著しくいためることがあります。

●外装の汚れをふきとるときは50℃以上のお湯を使用しないでください。変形や変色したりすることがあります。

シーズン終了時または長期間運転しない場合

エアフィルタは清掃してからもとどおりファンコンベクターに取付けておいてください。

点検整備

ご使用状態によってもかわりますが、ファンコンベクターを数シーズンご使用になりますと、内部が汚れ能力が低下することがあり、通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。

点検整備はお買い上げのサービスショップ(販売店またはガス会社)にご相談ください。なお、この場合は実費が必要です。

故障・異常の見分け方と処理方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止してじゅうぶんな点検をお願いします。

現　象	温風が出ない場合の原因			処置方法
ファンが回らず風が出ない	熱源機器が停止している	冷風防止スイッチの作動	49-988 989型のみ	熱源機器を運転する
	温水が流れていない			ポンプの運転状態を確かめる。
				開閉弁が「閉」になっていないか確かめる。
	温水の温度が低い			熱源の運転状態および温水の温度を確かめる。
	停電している			そのまま通電するまで待つ
ファンは回るが暖房効果が低下した	エアフィルタが詰まっている			「日常の点検・お手入れ」の項に従って掃除を行ない、再運転する。
	温水の温度が低い			熱源の運転状態および温水の温度を確かめる。
	熱源機器が停止している		49-987型のみ	熱源機器を運転する

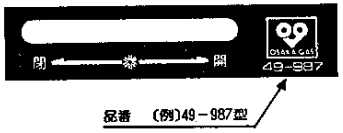
処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 7ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1) 品　名……ファンコンベクター
(2) 品　番……銘板右下に記入してあります。
(3) 現　象……（できるだけ詳しく）
(4) 道　順……（できるだけ詳しく）



転居される場合

- 電源周波数が異なる地域（50Hz地区）へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。
  この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- この器具には保証書がついています。
  このファンコンベクターは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
  保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

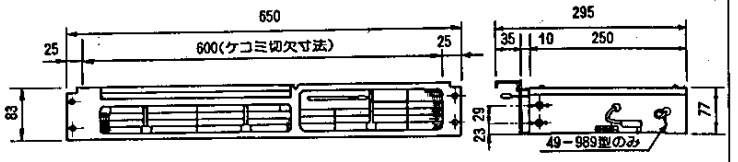
特　長

- コンパクト設計の巾木埋込タイプです。
- 運転スイッチと暖房開閉弁とを連動させることにより、ムダな熱ロスを防ぎます。
- 流し台・洗面台の巾木（ケコミ）部から温風を吹き出し足元の暖房を快適に行ないます。

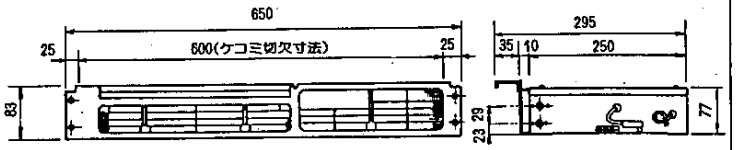
寸法図と仕様一覧表

寸法図

49－987・989型



49－988型



仕　様

型式		49－987	49－988	49－989
タイプ		巾木埋込型		
性能	注(1)暖房能力 kcal/h	810		
	循環温水流量 ℓ/min	1.5		
	水頭損失 mH_2O	0.42		
	風量 m^3/min	1.3		
	注(2)騒音 ホン	41		
電気特性	電源	単相 100V 60Hz		
	消費電力 W	13	18	13
	運転電流 A	0.24	0.26	0.24
外形寸法 mm		83(高)×650(幅)×295(奥行)		
冷風防止スイッチ		なし	あり	
製品重量 kg		5.2	5.4	5.3
付属品		Lカナグ、付属パイプ、取付ネジ		

注（1）：暖房能力は室温20℃、温水入口温度80℃、100Vおよび表示循環温水流量のときの値です。
注（2）：騒音の測定点はユニット前方1m、床面より高さ1mのところです。